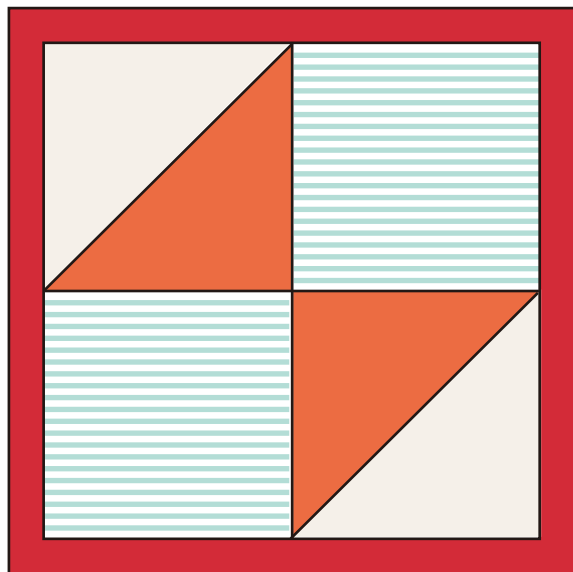


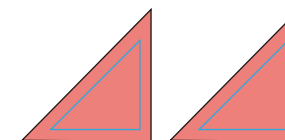
砂時計のコースター



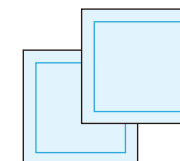
制作・プロセス指導／パフェプロジェクト神戸 松本直子
出来上がりサイズ：よこ約 12cm たて約 12cm

【作り方】

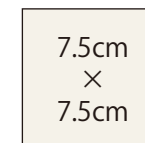
- ①パターンシートで2ページにある型紙を作ります。
- ②布の裏に型紙を使ってしるしを付け、パッチワーク定規で周囲に7mmのしるしをつけます。
- ③ぬいしろ線でカットします。四角2枚、三角2枚のピースを作ります。7.5cm角の土台布も準備します。



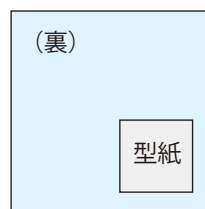
2枚



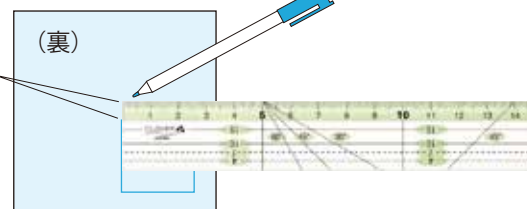
2枚



土台布 1枚



この
カラーライン
部分が7mm
幅です。



<用具>

57-660
パターンシート
<https://clover.co.jp/products/57660>

36-663
パッチワークはさみ 170
<https://clover.co.jp/products/36663>

57-930
パッチワーク定規<カラーライン>細幅 15cm
<https://clover.co.jp/products/57930>

57-400
ワンタッチしつけピン<10本入>
<https://clover.co.jp/products/57400>

57-157
ピーシング針「ブラック」<長>
<https://clover.co.jp/products/57157>

糸切はさみ、パッチワーク待針、目打
水性チャコペン
ミシン、アイロン、アイロン台など

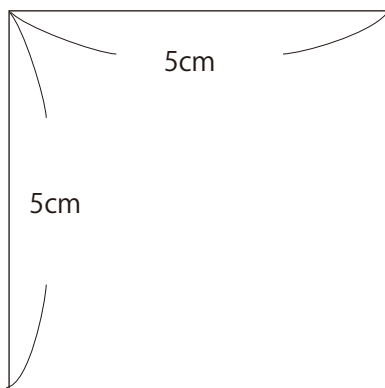


<材料>

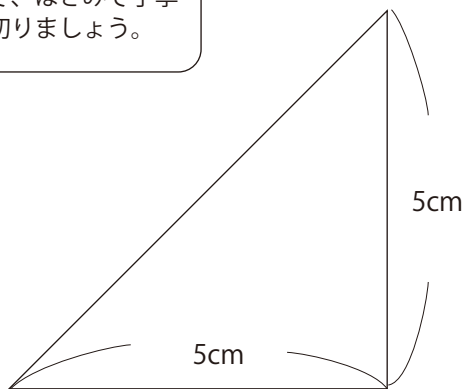
パッチワーク用布
6.4cm角 2枚
7.5cm角 2枚(三角と土台布用)
裏布 16cm×16cm
キルト綿(薄手) 14cm×14cm
パイピング布 3.5cm×51cm

ミシン糸、手縫い糸

●実物大型紙



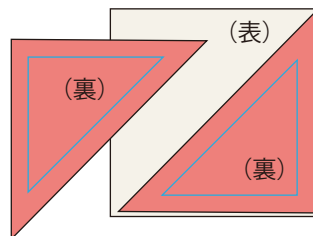
パターンシートに写して、はさみで丁寧に切りましょう。



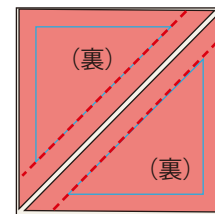
④三角を繋いだピースを作ります。

-1) 土台布に三角のピースを図のような重ね、待針でとめ、ミシンをかけます。

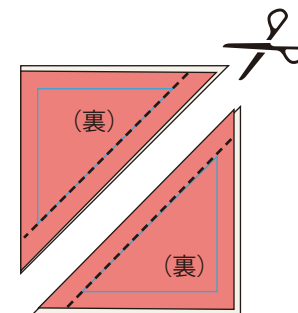
布切はさみで半分にカットします。



中表に合わせる。

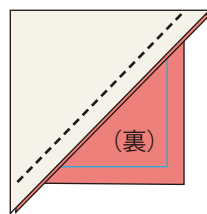


点線部分をミシンで縫う。

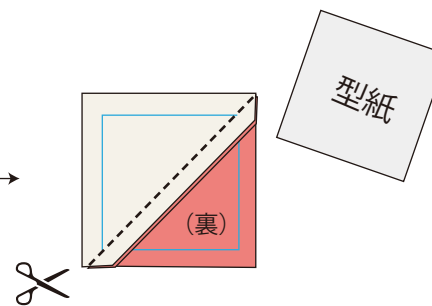


ハサミでカット。

-2) むいしろを濃い色の布の方に倒し、四角の型紙でしるしを描き足し、むいしろを切り揃えます。



むいしろを濃い色の方に倒す。



正方形の型紙を使ってしるしを描き足す。

あると便利

むいしろ倒しがラクラク。
アイロン代わりに。



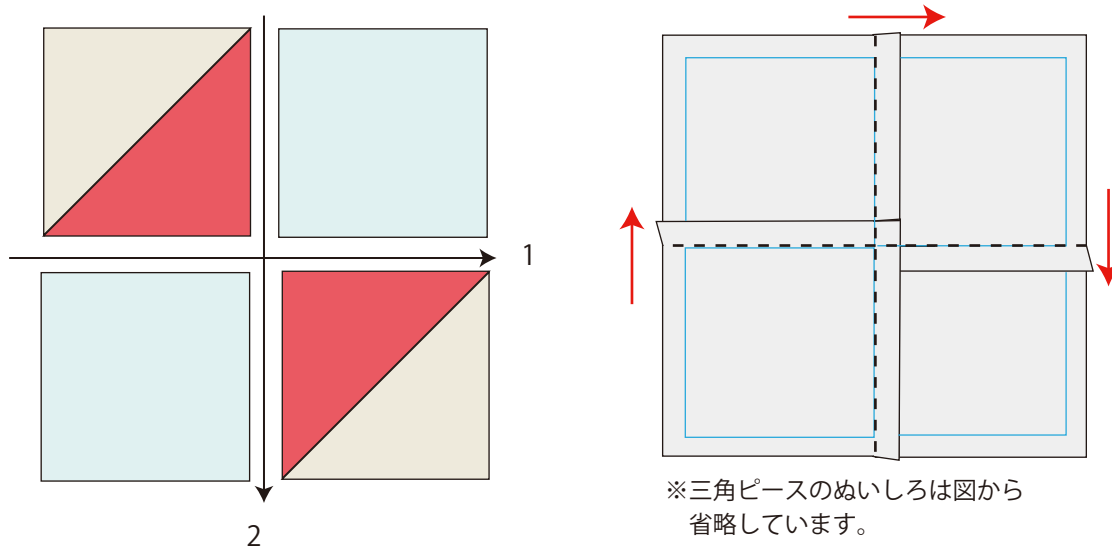
57-655 ココロオープナー
<https://clover.co.jp/products/57655>

クローバー株式会社

はじめてのパッチワーク 砂時計のコースター 4-2

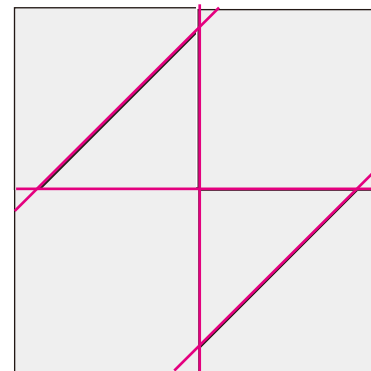
⑤ピースを繋ぎます。

縫い線をしっかり合わせて待針を打ち、1、2の順で繋ぎます。ぬいしろは図のように倒します。キルトトップの完成です。



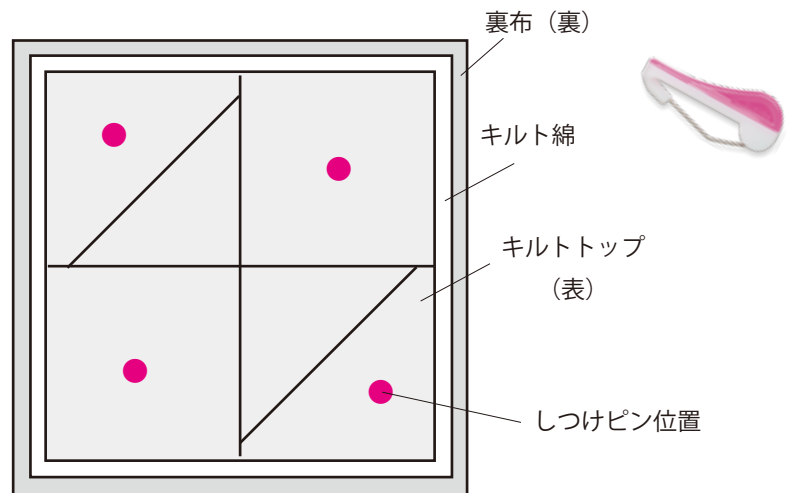
⑥キルティングします。

-1) キルト位置の確認 (キルトラインは必要ありません)。

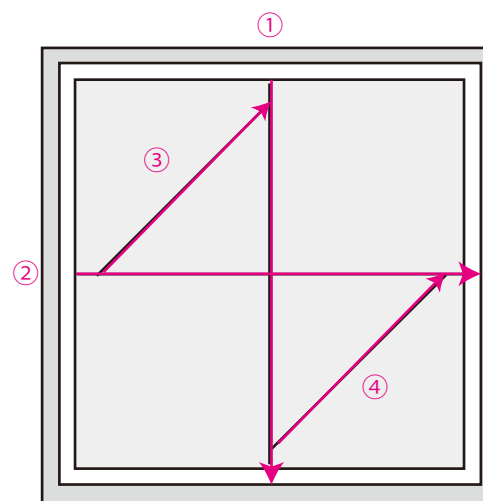


-2) 裏布、キルト綿、トップの順に重ね、

●の位置にワンタッチしつけピンをとめます。
(押え金が当たらないところに付けます)



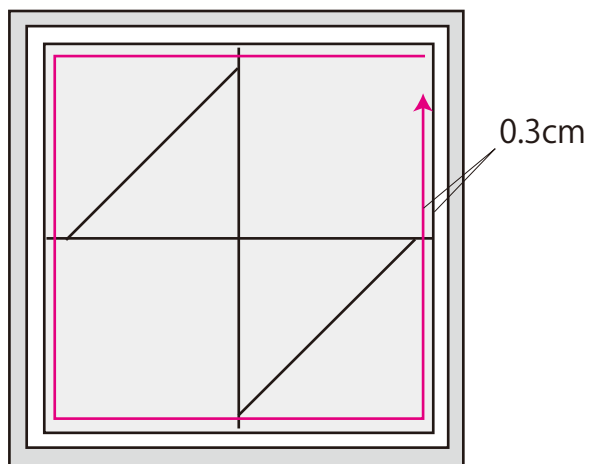
-3) 図の順にミシンをかけます。



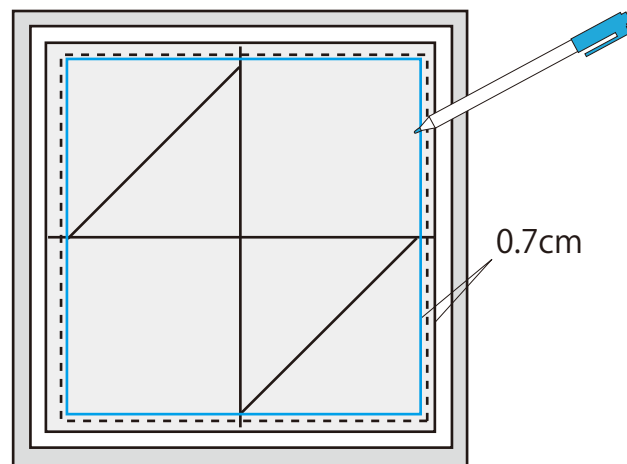
ピースの縫い目脇にするキルトを「落としキルト」といいます。基本的に、ぬいしろのない側を縫いますが、ミシンキルトでは必ずしもそうなりません。

-4) 大きな針目で、周囲をミシンで縫います。

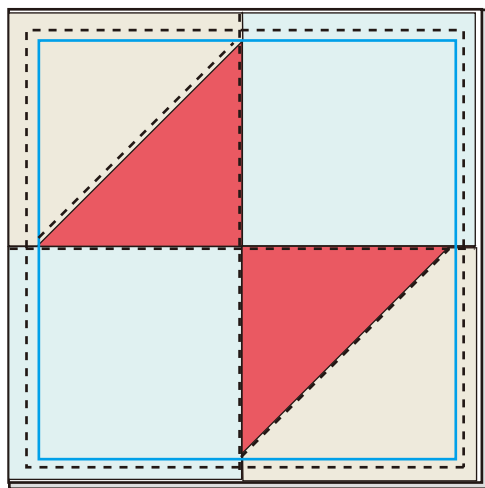
※小さな針目だと縮んでしまいます。



-5) 出来上がり線を引き直します。



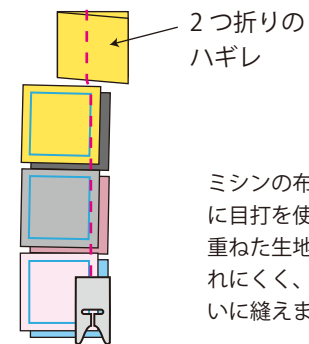
-6) 周囲を切りそろえて、キルティングの完成です。



続きは、パイピングの方法 PDF を
ご覧ください。

【ヒント】

ミシンの縫い始めが安定しないときは、先に半分に折ったはぎれを縫い、その続きで縫うと、パッチワークもキルティングも安定して縫えます。



ミシンの布送りに目打を使うと、重ねた生地がずれにくく、きれいに縫えます。



クローバー株式会社

はじめてのパッチワーク 砂時計のコースター 4-4